

社会福祉
法人 豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより

ボランティアグループ
あれこれ

手作り介護用品作成グループ 「小さな手」編

「小さな手」は、平成元年（1989年）4月に豊中市社会福祉協議会の登録ボランティアグループの一つとして結成しました。

私たちは、豊中市老人介護者（家族）の会を支援する目的で集まりました。その活動の一つとして介護用品を作っています。色々なニーズに合わせて、寝間着のリフォームや、床ずれマット等、工夫をしながら仲間と共に、楽しく作っています。

その他にも、個別の依頼に応じて、縫製など介護者の声を聞きながら、活動をしています。介護用品は、介護の必要な高齢者だけではなく、年齢に関係なく必要な方々がいらっしゃいます。その方々の一つでもお役に立てるように、これからもニーズに合わせて、介護用品等をつくっていくように活動を続けていきたいと思っています。

女性ばかりのグループですがにぎやかに、和気あいあいと活動しております！
興味のある方はぜひ活動日にぜひお越しください！



日々の活動風



ボランティアフェスティバルでのブースにも出展しています



◎活動に興味のある方はお問い合わせください。

☆お問い合わせ

豊中市社会福祉協議会 ボランティアセンター「ぶらっと」

豊中市岡上の町2-1-15(豊中市すこやかプラザ2階)

☎ 06-6848-1000

☆定例会：第2木曜日 10時～・第3木曜日 13時30分～



**豊中市社協ボランティアセンター設立30周年
豊中市社協ボランティア団体連絡会結成25周年記念**

ボランティアフェスティバル

平成30年3月3日（土）天気に恵まれ、今年度は「豊中市社協ボランティアセンター設立30周年」と「豊中市社協ボランティア団体連絡会結成25周年」が重なり、記念すべきボランティアフェスティバルとなりました。600人を超える来場者で、会場は大変賑わいました。

今回は記念ステージということで、小ホールにて大阪大学男声合唱団による若々しい合唱、大阪音楽大学大学院生によるサクソフォン四重奏の歌謡曲やクラシック音楽等、客席全体が感動する演奏で、立ち見ができるほど大好評でした。

最後にステージではサクソфонの伴奏により、男声合唱と会場全員で「花は咲く」を合唱し、感動の余韻を残して記念演奏会を終了しました。

展示室では被災地支援コーナーとして、陸前高田市より画家の田崎飛鳥さんをお招きして絵画展を開催しました。例年のボランティアフェスティバルとはひと味違った、記念すべきフェスティバルになりました！



大阪大学男声合唱団



大阪音楽大学大学院生によるサクソフォン四重奏



田崎飛鳥さんの絵画の解説（ステージ発表）



最後に阪大男声合唱団と大阪音楽大学大学院サクソフォン四重奏と会場のみなさんで合唱しました。



田崎飛鳥さんの展示（展示室）



ボランティアセンター30周年のあゆみ（多目的室）

どう?ボランティアフェスティバルって!?

～ボランティアフェスティバルの感想をインタビューしてみました～

①手話サークルの呼びかけで、何回か参加。新しい劇場をみたかったのもあります。すべてに手話通訳がついているのがよかったです。

60代 女性 市内在住

②「広報 とよなか」を見てきました。震災の絵を見て、胸がキュンとなりました。知り合いにあえる素晴らしい機会です。

70代 女性 市内在住



①全てのプログラムに手話通訳と要約筆記をしていただきました。



⑤ノルディックウォーク体験（ミニステージ）

⑤ノルディックウォークの体験ができてよかったです。どの団体も素晴らしい、よく努力されていますね。

70代 女性 2名 市内在住



豊中のボランティアイメージキャラクター
ボランちゃん



②田崎飛鳥さんの震災の絵画。

④コーポに貼ってあったポスターを見てきました。千里青雲高校のボランティアバスの報告を見て良いことをされているなあと思いました。

60代 女性 市内在住



④千里青雲高校のボランティアバスの報告

③ぐるぐるアートを体験して楽しかった。
今朝、新聞を見てきました。

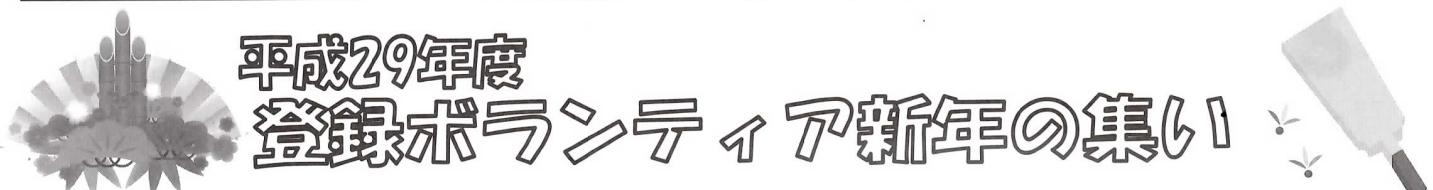
小4女子・母 市内在住



③ぐるぐるアートの体験コーナー

当日は暖かく、出足が早くて、たくさんの方が来場してくださいました。

インタビューにお答えくださいましたみなさま、貴重なお時間、ありがとうございました。（そよかぜ K・F）



平成29年度 登録ボランティア新年の集い

平成30年1月29日(月)市立福祉会館で毎年恒例の「登録ボランティア新年の集い」が、開催されました。当日は80人を超える登録ボランティアが参加し、大変賑やかな会になりました。

団塊塾とよなかとして、初めて新年の集いに参加させて頂きました。

我々のメンバーは、現在8人で、内4名の参加で少し寂しい感じではありましたが、それを忘れるくらい楽しい時間を過ごさせていただきました。

同じボランティアグループでも、なかなかお目にかかる事もないで、毎年1回このような機会をもって一同に会することは、新しい出会いもあり、今後のボランティア活動を進めていく上で、意義あることだと思います。



初参加！団塊塾のみなさん



いきいき歌体操グループさわやかのみなさん



地域ボランティア活動推進委員会
委員長 斎藤杏子さん

来賓のごあいさつの後、おいしいお弁当を頂きながら(ビールを飲めるのはいいですね)、各ボランティアグループ等の紹介、座が和まったのち、いよいよ芸達者の方々の出番であります。みなさま、それぞれ長年培ってこられた得意の芸を披露され、参加者の皆様も大いに楽しまれましたことでしょう。

年齢を重ねても、趣味を持って、元気に取り組んでいくことも、明日のボランティア活動につながるものと思います。そんな中で、団塊塾とよなかは、出来たばかりのユニフォームを着て会場のみなさんにアピールしました。

団塊塾とよなかの参加者のひとりは、多方面で芸達者が多く潜在する世代パワーの力強さ、また多様なボランティア団体があったのか、そしてそれぞれのメンバーが活き活きと活動していることに感動したことのこと。来年も皆様と元気にお会いできたらと思います。

(団塊塾とよなか)



江戸芸かっぽれ同好会のみなさん
素敵な踊りを披露してくださいました。



施設の演芸ボランティアでもフルート演奏を披露していた
だいている細谷さんが、今年も披露してくださいました。

平成29年度災害支援訓練

平成30年1月13日（土）大門公園にて、「災害支援訓練」が実施されました。

この訓練は平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災で大阪府下最大の被災を受けた豊中市において、その経験を活かし、緊急時における市民の協力体制の整備や震災の教訓を風化させないために、災害ボランティアセンターの立ち上げシミュレーション訓練を実施しているものです。震災当時の支援グループで組織した「豊中市社協災害支援ネットワーク」の協力で毎年行っています。



ボランティアのマッチング作業



アルファ米の炊き出し様子



ニーズ聞き取り訓練



災害支援訓練に参加して

団塊塾として今年で二回目の参加となりました。

今年は例年なく寒い日が続き、訓練当日も寒さを覚悟しておりましたが、意外と寒くなく去年よりも穏やかでよかったです。

団塊塾メンバーの一人は、車いすの方を特定避難施設に移送する役目でした。通常でも信号などで結構時間がかかりましたが、災害時にはどれだけ時間がかかるか想像もつきません。いかにスムーズに移送できるか、なかなかシミュレーションが難しい課題だと思われます。

また、別のメンバーは、非常時の備品の確認作業でした。市社協の防災倉庫に様々な非常用備品が置いてあります。数に不足はないか、使用期限は過ぎていないかなど点検し、簡易発電機の使用にも挑戦しました。毎年の備品チェックは地味ですが欠かせないと感じました。

その他に避難所の設営（テントの組立、簡易ベッド・簡易トイレの組立など）、炊き出し班、資材・車両班、ボランティアの受付・誘導対応、情報発信、被災者の安否確認など様々な任務があります。よく整った組織的な訓練ができたと思います。

地震列島、火山列島の島国日本、いつ起こるかわからない災害に日頃から備え、継続しての避難訓練が大事です。

（団塊塾とよなか）

私にとってのボランティア～ボランティア活動手記～

私のボランティアの原点は母が常日頃、いつも口にしていた「人様の喜んでくださることに骨身を惜しまず動くことが心豊かにしてくれる」と言ったことが今の私の心の支えになっています。

「聴くの会」は電話による、傾聴ボランティアのグループです。ひとり暮らしの方々との会話の中で、心通わせ人生の喜怒哀楽の中での経験豊かな人々の会話は多くのことを学ばせていただいている。一人の寂しさか時々じょう舌になり、多くのことをお話しなさることも多々あります。その時は耳を傾け心で思いを受け止め、その方の身になって共に考え、励まし合いながら、互いに心ゆくまでお話しするよう、心がけています。

最後に「ありがとうございます、また来月待っています」と言葉をかけてくださる時、本当によかったです。

これからもこのひとときを大切に思い、利用者の方々と心通わせ、共に過ごす時間を多く持てることを心に願いながら、これからも人様のお役にたてるよう、日々体調に気をつけてがんばっていきたいです。
(聴くの会・上野宏子さん)



聴くの会の活動の様子（写真右が上野さん）

豊中アッシー 施設見学

津波・高潮ステーションへ行きました！

平成30年2月28日（水）に市社協登録ボランティアグループ、豊中アッシーで、

「津波・高潮ステーション」に施設見学へ行ってきました。

はじめに、「津波」と「高潮」の説明を受けました。次に、必ず来るといわれている海溝型地震・津波は、過去に日本でも頻繁に発生しているということで、大地震が明日に発生しても不思議ではないという話を聞きました。

研修中は全員静かに聞いて、見て、体験しました。地震も怖いですが、地震による津波は更に恐ろしいということを、痛感しました。

（豊中アッシー H・T）



とよなか地域ささえ愛ポイント事業

65歳以上の高齢者が、何らかの支援が必要な高齢者を支えるボランティア活動です。

活動実績に応じて「ポイントシール」を発行しますので、楽しみながら活動を進めていくことができます。まずはお気軽に登録説明会にお越しください！

みなさまのご参加をお待ちしております！

【対象者】

満65歳以上の豊中市民（豊中市介護保険第1号被保険者）

【登録説明会】

場所：豊中市すこやかプラザ 2階

日時：毎月 第1月曜日、第4火曜日

※祝日の場合変更あり

時間：10:00～12:00

連絡先：06-6848-1000（事前予約要）

ひとり暮らし高齢者のみなさまに年賀状を送付しました

昨年11月から12月にかけて、豊中市内のひとり暮らしの高齢者のみなさまに年賀状の作成を行いました。8日間で延べ189の方にご参加いただき、5,992の方に送付することができました。ご自宅で作った切り絵をもって来てくださったり、アイディアを出し合いながらデザインを考えたりと、一人一工夫をされていました。絵柄だけでなく、文字を書いた方、チェックをした方、みんなで協力しながら年賀状を完成させました。

また年賀状に対し、今年もたくさんの方の返礼をいただき、大変励みになりました。

次回もぜひたくさんの方のご協力えて、素敵な年賀状をたくさん作りましょう。



みんな集中して真剣に書いています。



今年の干支は戌年でした！
年賀はがきが、戌のかわいいイラストや切り絵、スタンプなどで彩されました。

豊能町・能勢町・豊中市 ボランティア連絡会との交流会

2013年に、吹田市ボランティア連絡会との市町ボランティア連絡会交流会を開催してから以後、高槻市、箕面市と池田市、茨木市と摂津市と続き、北摂地域最後の能勢町、豊能町ボランティア連絡会との交流会を、2017年11月8日に、すこやかプラザで開催しました。当日は、能勢町6人、豊能町5人、豊中市から21人の計32人の参加がありました。交流会は3グループに分かれ、ボランティア連絡会の課題や問題等について話し合いや議論が行われました。

特に両町は、広大な地域に集落が分散し、ボランティア活動への影響が予想されましたが、伝統的な自治会組織や、相互援助などのボランティア活動が根付いているようです。

北摂地域の交流会も一巡しましたが、その後池田市と能勢町が交流会を催されたり、さらに他ブロック間での市町村ボランティア連絡会との交流に広がっていくことを期待します。

(みちしるべ M・H)



細谷会長のあいさつ



豊能町のみなさんとボランちゃん



能勢町のみなさんとボランちゃん

<ボランティア活動 総合補償制度のご案内>

安心してボランティア活動や地域活動に取り組んでいただくために、ボランティア活動総合補償制度があり、ボランティアセンターが窓口になっています。

◆ボランティア活動保険

(ボランティア活動中の事故の備えていたくもの) ⇒ボランティア活動を行う団体対象

◆ボランティア・市民活動行事保険

(主催者が賠償責任を負った場合に備えていただくもの)

⇒スポーツ活動や子ども会活動など各種ボランティア・市民活動団体対象

※不特定多数の方が
参加される行事は
この保険の対象に
はなりませんので
ご注意ください。

※補償内容は毎年変わります。

保険加入の際にはご確認をお願いします。



<支援金・義援金の集計>

●東日本大震災支援金

東日本大震災被災地への支援活動のひとつとして、被災地支援金を継続して受付しております。

金額：4,269円

(平成29年4月1日～平成30年2月28日現在)

●熊本地震義援金

平成28年4月に発生した熊本地震への支援活動の一環として義援金を受付しております。

金額：3,600円

(平成29年4月～平成30年2月28日現在)

●九州北部豪雨災害

平成29年7月に発生した九州北部の記録的な豪雨災害の支援活動の一環として義援金を受付しております。

金額：107,018円

(平成29年7月11日～平成30年2月28日現在)

豊中市社協ボランティア団体連絡会

会長 細谷正純さんが 厚生労働大臣表彰
(ボランティア功労) 受賞されました

平成29年11月22日に開催されました全国社会福祉大会において、厚生労働大臣表彰(ボランティア功労)を受賞されました。おめでとうございます。

編集後記

私が初めて「そよかぜ」に参加した平成7年は阪神大震災もあり、高齢者や子育て世代からの生活支援の依頼が、大変多く、その分「そよかぜ」の会員も25名以上いました。数年後、介護保険制度やファミリーサポートセンターができ、私たちへの依頼はぐっと減りました。

依頼がまわってこない仕組みができたということは、少しずつ住む環境がよくなってきたということかもしれません。しかし、まだまだ、私たちの援助を待たれている方は多数おられると思いますので、私のできる範囲で、今後もボランティアを続けようと思います。

(そよかぜ N・I)

ボランティアメール配信中！

QRコードを読み取っていただき、画面の指示に従って、ご登録ください。
ボランティアに関する情報を配信しております。

URL <https://service.sugumail.com/toyonaka-city/>

※上記URLからもご登録いただけます。

※登録申込は無料ですが、登録・メール受信にかかる通信料はご負担ください。

